

文化的・社会的貢献活動 (その1)

■ ネーミングライツの取得

呉市二河町にある「呉市営プール」のネーミングライツを取得し、令和6年4月1日(月)から「シシンヨーアクアパーク」の名称になりました。命名権の取得は平成31年の「シシンヨーオークアリーナ(呉市総合体育館)」に続いて2件目となります。このプールは「日本製鉄アクアパーク」として市民から親しまれていましたが、日本製鉄 瀬戸内製鉄所呉地区が令和4年2月に呉市からの撤退を表明したことを受け、ネーミングライツを取得することになりました。施設は屋内温水プール、屋外子どもプール、多目的広場の3つで構成されており、屋内温水プールでは「呉市中学校水泳新人大会」や「明田記念水泳競技会」などが毎年開催されています。また、シニアやキッズ向けの教室が開かれていて、市民の健康維持・増進に役立っています。プール休館日に合わせて施設内の看板制作・設置作業を行い、3月27日(水)に無事に完了しました。あわせて施設利用のリーフレットも作成し、寄贈しました。これからも地域に積極的に貢献していきます。



■ 小学生の生活科学習に五月が丘支店協力

令和5年10月17日(火)、広島市立五月が丘小学校で実施された生活科学習「町たんけん」に、五月が丘支店も協力しました。この学習は、見学やインタビューなどの活動を通し、自分たちの町の良さに気づき、地域の人や場所への愛着を深めるという活動です。当日は、2年生の子どもたち6名と引率の保護者が支店を訪れ、金融機関の仕事を見学。お札の数の指導では、模擬紙幣を使い一人ひとりにレクチャー。ATMの機械の中をのぞいた際は、メタリックな輝きに興奮しているようでした。また、「警備員は何人いますか」という素朴な質問に対し、職員が「隣の交番が警備員代わりです(笑)」と答えるなど、終始和やかな雰囲気の中で金融機関の仕事について説明しました。職員にとっても、当組合が地域に密着していることが実感できる一日となりました。

子どもたちから届いたお礼のお手紙



■ しんくみいきき献血運動

9月3日の「しんくみの日」にあわせた社会貢献活動として、献血運動を毎年実施しています。22回目となる令和5年度は9月4日(月)、シシンヨービル13階大会議室を会場に実施しました。近隣にお勤めの方にも声掛けをしたほか、本店ビル1階の受付カウンターにも催し案内を掲示しました。当日は近隣の営業店からも職員が参加し、来場者69名のうち48名の方に献血をしていただきました。この22年間の実績は延べ参加者1,335名、献血者976名となりました。今後も社会、地域が求める活動を積極的に協力していきます。



■ 中学生の職場体験学習

当組合は中学生を対象にした職場体験学習に協力しています。令和5年8月22日(火)～24日(木)の3日間、安浦支店で呉市立安浦中学校の2年生1名を受け入れ、職場体験学習を実施しました。お札の数え方、入出金等の端末オペレーションや窓口対応などの業務を体験していただき、竹原支店、向洋支店でも学習に協力しました。これからも生徒たちのキャリア形成の視野を広げ、将来の進路選択に役立つ機会を提供し続けていきます。



■ しんくみの日週間の寄付金贈呈

9月3日を「しんくみの日」と定め、信用組合では各種の社会貢献活動を実施しています。その一環として令和5年8月30日(水)、社会福祉法人三矢会(さんしかい)太田川学園(広島市安佐南区)、社会福祉法人似島学園(広島市南区)に寄付金を贈呈しました。三矢会太田川学園は昭和43年に創立し、県内では有数の規模で運営されています。同学園ではアート活動が盛んで、「ハナサクモリ」というギャラリーを開設し、作品を展示しています。似島学園は広島湾に浮かぶ似島にて、昭和21年より児童福祉事業を営まれ、山麓に広がる300アールの広い敷地で子どもたちがのびのびと生活を送っています。これらの寄付が福祉活動の一助となることを願い、これからも地域社会に貢献していきます。

■ 社会福祉法人三矢会



■ 社会福祉法人似島学園



文化的・社会的貢献活動 (その2)

RCCラジオ・チャリティ・ミュージックソン募金

目の不自由な方に音の出る信号機を贈るため、ラジオとイベントを通じて募金を呼びかける中国放送の支援キャンペーンに1回目から毎年参加し、広島地区での「通りゃんせ基金」募金活動に協力しています。昨年は、古市橋駅前交差点(広島市安佐南区)、オークアリーナ前交差点(呉市広)、東4番ガード南交差点(三原市旭町)の3交差点の信号機設置に役立てられました。これで、県内42箇所に音の出る信号機が設置されたことになります。16回目となる令和5年度も11月から令和6年1月末までの募集期間に合わせて、全店デジタルサイネージに告知ポスターを掲出しました。また、募金の振込手数料を無料とし、役職員も募金に協力しました。中国放送には過去最高額の約888万円もの募金が集まり、新たな信号機を設置する予定です。これからも地域社会のために協力していきます。



JR古市橋駅前交差点(広島市安佐南区古市)



給付型奨学金「シンシンヨーはばたき奨学金」

平成29年に創設し利用いただいている給付型奨学金「シンシンヨーはばたき奨学金」。この奨学金は母子家庭・父子家庭を対象とした返還不要の給付型奨学金制度で、月1万円を1年間給付します。令和6年度も継続し、5月から給付を開始しており、ご利用の方からの継続申込みやご紹介、ご親戚からのお問い合わせもあるなど、制度の認知も進んでいます。

これからも奨学金制度を通じて、地域の未来を担う人材育成に貢献していきます。



SDGsへの取り組み

当組合は令和3年9月に「SDGs宣言」を策定し、当組合のホームページ等で公表しています。ディスクロージャー誌の「地域を応援する取り組み」や「文化的・社会的貢献活動」でも取り組みを紹介しています。福祉事業への支援もその一環として取り組み、令和5年7月14日(金)、社会福祉法人等の利用者の皆さんにポップコーンを贈呈しました。今回贈呈したのは、広島修道院、似島学園、三矢会太田川学園、呉福祉会の社会福祉法人と児童養護施設です。これからも積極的に地域経済の発展・持続的な成長に貢献していきます。



■ グラウンド・ゴルフ大会に向洋支店、東雲支店協力

令和6年5月15日(水)、向洋支店が主催する「第28回グラウンド・ゴルフ大会」を広島市東部浄化センター運動広場(広島市南区)で開催しました。今回の会場は海田大橋、浄化施設と港に囲まれた一角にあり、参加者にとってはプレーに集中できる環境です。5月というのに半袖でプレーする方がいるほど、暖かい天候に恵まれ、総勢80名の参加者は楽しくプレーをしました。また、令和5年7月15日(土)には、東雲支店が協賛する「第10回ふれあいグラウンド・ゴルフ交歓大会」が東雲本町2丁目公園(広島市南区)で開催されました。当日は90名の参加者とともに、支店からも職員2名が参加。梅雨シーズンでありながらも、雨に遭うこともなく、皆さんと一緒にプレーを楽しみました。これらの大会の参加者には、年金受給者などの取引先も多数参加され、地域に密着したフェイス・トゥ・フェイスの関係づくりの一助にもなっています。これからも地域を応援する取り組みを積極的に行っていきます。



■ 祭り「えんこうさん」に駅前支店協力

猿猴橋(広島市南区)を中心とする祭り「えんこうさん」が、令和6年3月30日(土)に開催され、駅前支店が協賛しました。このお祭りは広島城下の西国街道に架かり、広島の「東の玄関口」として古くから交通の要衝であった猿猴橋を往時の姿に復元したことを記念し、広島駅周辺の地域のまちづくり振興を目的に、平成28年から始まりました。お祭りでは、猿猴川のほとりに設置された「ぼんぼり」に社名を掲載して、夜桜見物を演出したほか、支店職員も参加し、ご縁幸祭事の儀式と神輿のお通りを見守りました。

令和7年開業予定の広島駅再開発を含め、これからも「陸の玄関口」である広島駅周辺のにぎわいづくりに協力していきます。



■ 広陵高校の応援懸垂幕の掲示

第96回選抜高校野球で甲子園出場を決めた広陵高等学校(広島市安佐南区)を応援するため、安支店ではお祝いの懸垂幕を、発表があった令和6年1月26日(金)より掲げ、地元の皆さんと一緒に応援しました。本大会では、初戦の高知戦は3-1と快勝、2回戦の青森山田戦では延長戦となる熱戦で、懸命に戦った球児たちに感動しました。

今後も地域を積極的に応援し続けます。



文化的・社会的貢献活動 (その3)

■ 模擬面接に竹原支店協力

令和5年9月8日(金)、竹原商工会議所(竹原市)が主催する模擬就職面接に協力し、竹原支店長が面接官を務めました。これは地元の高校生の活躍を地域で後押しする取り組みで、広島県立竹原高等学校3年生の7名が面接に臨みました。面接は1名を2名が対応する形で行われ、模擬面接後に感想やアドバイスなどをフィードバックし、質疑応答も行いました。面接官を担当した支店長は2名と面談し、「初対面の大人相手に緊張していたと思いますが、しっかり伝えようという意欲が十分に伝わりました。今日の経験を活かして就職試験に臨んでほしい」と感想を述べています。これからも地域を支える若い世代の育成に協力していきます。



■ プレミアム商品券の換金業務取扱い

竹原商工会議所を事業主体とする「たけはらプレミアム商品券」の企画に協力し、令和5年9月28日(木)から竹原支店と荘野支店で換金業務を取り扱いました。これは、昨今の物価上昇によって苦しい経営状況に続く地元商工業者への支援を目的としたもので、商品券のプレミアム率は20%。地元の多くのお客さまにご利用いただきました。これからも地域に寄り添った取り組みを続けていきます。



■ プレミアム商品券の概要

発行額	1億4,400万円
1冊の券種	額面1,000円×12枚
販売価格	1冊10,000円

■ 「万徳院 春を食えるかい」に千代田支店協力

令和6年4月28日(日)、山県郡北広島町舞綱にある万徳院跡歴史公園で、春を満喫する「春を食えるかい」が開催され、千代田支店の職員がお手伝いに参加しました。23回目となる今回は晴天に恵まれ、多くのお客さまが久しぶりの町内イベントを楽しんでいました。

「春を食えるかい」は、山菜料理が食べられる“山菜づくしのおもてなし”が魅力で、山菜の天ぷら売り場は大盛況。また、蒸し風呂体験や庭園鑑賞会などが催されたほか、バンド演奏や吹奏楽演奏などのステージもあり、催しを楽しみながら春の味覚を満喫する方々の笑顔が会場に広がりました。今後も、地元の皆さんと協力しながら、地域に貢献していきます。



■ 地元の催しに大朝支店協力

地元に根付いたイベントや伝統行事に積極的に参加・協力しています。

■ 新庄夜市、おおあさ鯖まつり

令和5年7月15日(土)、北広島町で「第40回新庄夜市」が開催され、支店職員も参加し、祭りの盛り上げに協力しました。コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となった今回も、新庄学園通りに多くの屋台が並び、特設ステージでは書道パフォーマンスや神楽のほか、北広島町のイメージキャラクター^{はなだもうちろ}花田舞太郎が登場し、会場を沸かせました。

11月19日(日)には、大朝支店のある「わさまち通り商店街」で「おおあさ鯖まつり」が開催されました。このお祭りは、山間部の大朝地域で、日持ちのするしめ鯖が好まれてきた土地柄にちなんだお祭りで、鯖ずしや焼き鯖などの出店があり、支店職員たちも鯖グルメを購入するなど、お祭り気分を味わいました。



新庄夜市



おおあさ鯖まつり

■ わさまち、新庄はやし田(大花田植)

令和6年4月29日(祝)、北広島町大朝ショッピングセンター“わさ～”とその周辺を会場に、「わさまち」と銘打った春祭りが行われ、支店の職員全員は会場のゴミ回収に協力しました。前々日からプレイベントも開催され、メイン会場では新庄学園吹奏楽部の演奏などで盛り上がりしました。当日はあいにくの雨となりましたが、地域の皆さんの旧交を温める姿に祭りのすばらしさを実感しました。国の重要無形民俗文化財の「新庄はやし田^{おおはなだうえ}(大花田植)」が5月12日(日)、北広島町の新庄小学校の体育館で行われました。当日は雨のため、水田から会場を変更し、早乙女たちが歌に合わせて田に苗を植える作業シーンを再現しました。大朝支店からは支店長が出席し、その伝統文化継承を観覧しました。これからも、地元に寄り添い、地域おこしに協力していきます。



わさまち



新庄はやし田(大花田植)

文化的・社会的貢献活動 (その4)

■「けんだマルシェ」に廿日市支店協力

令和6年1月13日(土)、廿日市駅通り商店会主催の「第1回けんだマルシェ」に協力し、廿日市支店の駐車場を提供しました。このイベントは例年行われている「年末年始スタンプラリー」のガラポン抽選会を核として大々的にリニューアルしたもので、例年以上に多くの地域の皆さんが集まってにぎやかに開催されました。駐車場をメイン会場として、周辺ではキッチンカーによるフードマルシェやキッズのゲームコーナーなどが設けられました。メインプログラムは地元名物の“もみじ饅頭まき”で、ステージを中心に老若男女が集まり、歓声が響きました。これからも地域おこしに協力していきます。



■「さえき桜まつり 桜マルシェ」に五日市支店協力

令和6年4月6日(土)・7日(日)、佐伯区民文化センターエントランス広場(広島市佐伯区)で「さえき桜まつり 桜マルシェ」が開催され、五日市支店から3名の職員がお手伝いに参加しました。お花見の名所としても知られる造幣局広島支局の近くで開催されるこのお祭りは、桜の見頃の時期とも重なり、“桜まつり”という名にふさわしいイベントです。キッチンカーや雑貨等のマルシェはもちろん、音楽ライブやガラポン抽選会等の催しもあり、両日とも多くのお客さまでにぎわいました。支店のお客さまも来場され、親子でゲームを楽しんでいる姿を見られるなど、心温まるひと時を感じることができました。これからも地域の一員として、活性化のお手伝いを続けていきます。



■「南の風EBAあそび」に江波支店協力

例年2月の第2日曜日に江波山公園を会場に開かれる「南の風EBAあそび」が、令和6年2月11日(日)に催され、江波支店の職員3名が参加しました。コロナ禍の影響で4年ぶりの開催ということもあり、当日は地元の皆さんがたくさん集い大盛況でした。昨年の夏に江波漕伝馬に参加した職員は「江波の盆踊り」を漕伝馬チームの皆さんと一緒に踊るなど、交流を深めました。これからも地域活性化に積極的に貢献していきます。

